## ■平成27年度 地方創生「大津町次世代チャレンジプロジェクト」の軌跡

私たちの約束

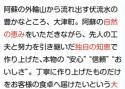
お客様に本物の"安心""信頼""おいしさ "を届ける。自分たちの産品に誇りと自信 を持つ。作り手も Happy になる。

(ASO Oriented)

を8月22日に開催。

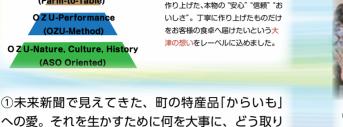
組むのかを話し合う「いも愛のいも掘りセッション」

「OZU―Heartivi





②8月23日の大津地蔵祭では、プロジェクトに参 加した「翔陽高校」と「ギャラリー&和カフェ水車物 語」がコラボ。高校生が開発に着手した「からいも ジャム」をかき氷の蜜にアレンジし、「芋蜜金時」とし て販売し好評でした。





「OŽU―Heartブ ランド」構想に合うと実 行委員会が認める物な どにつける「ÅSOŽU H E A R T Jマーク





⑦畑に囲まれた農道を歩行者天国にして、3月13 日に1日限りの「o z u こびとのいえ c a f e を開 催。プロジェクトから生まれた「からいも」を使った スイーツやフード、からいも貯蔵庫に絵を描いた「こ びとのいえ」などを来場者と一緒に楽しみました。



間は4カ月ほどでしていたつながればとい 企画政策係

成27年度の実質的な活動期





③その後、当初からの参加者と、新たな参加者を 募り、対話を重ね、それぞれの店舗ごとに「からい も」の商品を作ることに。

そして、プロジェクト参加者が合同でキャンペー ン企画を実施することが決定しました。

⑥ 「女子大生先行試食会(熊本県立大学)」を2月18日 に開催しました。同大学の学生に試食してもらい、 感想を聞き、商品の名前と告知のヒントをもらいま



④[尾道空き家再生プロジェクト]を1月18日に 「津屋崎ブランチ」を2月15日にそれぞれ視察し、 町にある資源を生かした「まちづくり」を勉強。大 いに刺激を受けました。



⑤メンバーが試作中のからいもスイーツなどを2月 1日に持ち寄り試食。次に開催する女子大生先行試 食会に向け準備をしました。



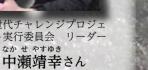
んなで育てるブランド 共通するのは大 たくさんの

職業など環境の違 を感じて活動を始 見つめなおし

Ŏ



次世代チャレンジプロジェ クト実行委員会 リーダー なか せ やすゆき



広報おおづ 2016.4 広報おおづ 2016.4